

第33回

長浜企業 景況調査

報告書



実績 2024年 7月～9月

見通し 2024年 10月～12月

今期のトピックス

原油等、原材料価格上昇の
影響と対策について



アプリのご紹介

スマホやタブレットでご利用いただける、長浜商工会議所の専用アプリケーション“長浜商工会議所 News”をリリースいたしました！
発信した情報を「いち早く」「多くの方に」見ていただくことを目的に作成したアプリです。
補助金やセミナー・イベント情報等々、情報に更新があるとアプリに通知が届きます☆(要設定なので、ぜひプッシュ通知はONにしてください！)
健康診断や検定試験などのご案内もございますので、代表や担当の方だけでなく、社員皆さままでご利用いただけたらと思います(^^)

■Android・タブレットをご利用の方→
Google Play ストアからダウンロード



■Iphone・ipad をご利用の方→
App Store からダウンロード



「長浜商工会議所」とご検索ください(^^)!



 **長浜商工会議所**
NAGAHAMA Chamber of Commerce and Industry



コンテンツ

01 調査概要

02 今期のトピックス

03 全体の景況感（総括）

04 調査項目別 DI 値

04 業種別業況 DI の推移（長期トレンド）

05 業種ごとの動向 (卸売業・小売業・サービス業・建設業・製造業)

07 設備投資の有無

08 調査項目別 DI の推移

10 その他業種別自由意見

調査概要

長浜企業景況調査について

① 調査対象期間・調査時点

調査対象期間：令和6年7月～9月
調査時点：令和6年10月1日

② 調査方法

長浜商工会議所会員企業220社へのFAX方式・メール方式による調査

③ 調査対象企業数

220社（内訳は右表通り）

④ 報告者

中小企業診断士 川副 郷一郎

	調査対象企業数		有効回答企業数		回収率
	企業数	構成比	企業数	構成比	
卸売業	24	10.9%	19	14.4%	79.2%
小売業	40	18.2%	23	17.4%	57.5%
サービス業	70	31.8%	38	28.8%	54.3%
建設業	32	14.5%	21	15.9%	65.6%
製造業	54	24.5%	31	23.5%	57.4%
合計	220	100.0%	132	100.0%	60.0%

長浜企業景況調査の見方について

DI 指数について

- ① 調査結果を示す指数としてDI指数を採用しています。
- ② 調査項目のうち、「業況（自社）」「売上高」「採算（経常利益）」「資金繰り」「従業員」「販売価格」「仕入価格」「業界動向（同業他社）」「長・短期資金借入難易度」「受注動向（建設業）」「在庫量（製造業）」のDI指数は前年同期と比較しています。
- ③ 「取引の問合せ」と「採算の水準」のDI指数は前年同期比較ではなく調査対象期間の水準を評価した数値です。

DI 指数の見方について

- ① DI指数がプラスであれば好調の企業数が不調の企業数を上回っていることを意味し、プラスの値が大きいほど「好調」の企業割合が多く「景気がよい」と判断されます。
- ② このDI指数を前期、今期、来期とグラフで示すと、その傾向を読み取ることができます。
- ③ 業況DIは経営者の景況感を反映しています。主観的な要素もはありますが、売上高や収益動向で判断される傾向が強いです。
- ④ 資金繰りDIは概ね景気循環と連動していますが、政策の影響が景気の低迷期で認められています。
- ⑤ 小売業は売上高DI、卸売業は資金繰りDI、サービス業は従業員DIの推移が注目する指数です。
- ⑥ 建設業は季節による影響が業況DIに認められています。これは公共工事との連動のためで1～3月期は総じて低調な傾向となります。

設備投資の見方について

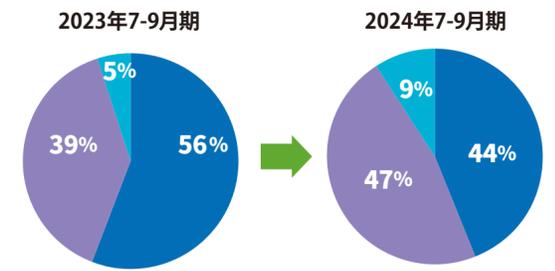
- ① 好景気では「生産力増加」「合理化省力化」投資が増加し、景気の後退期では「設備更新」投資の割合が増える傾向にあります。

今期のトピックス

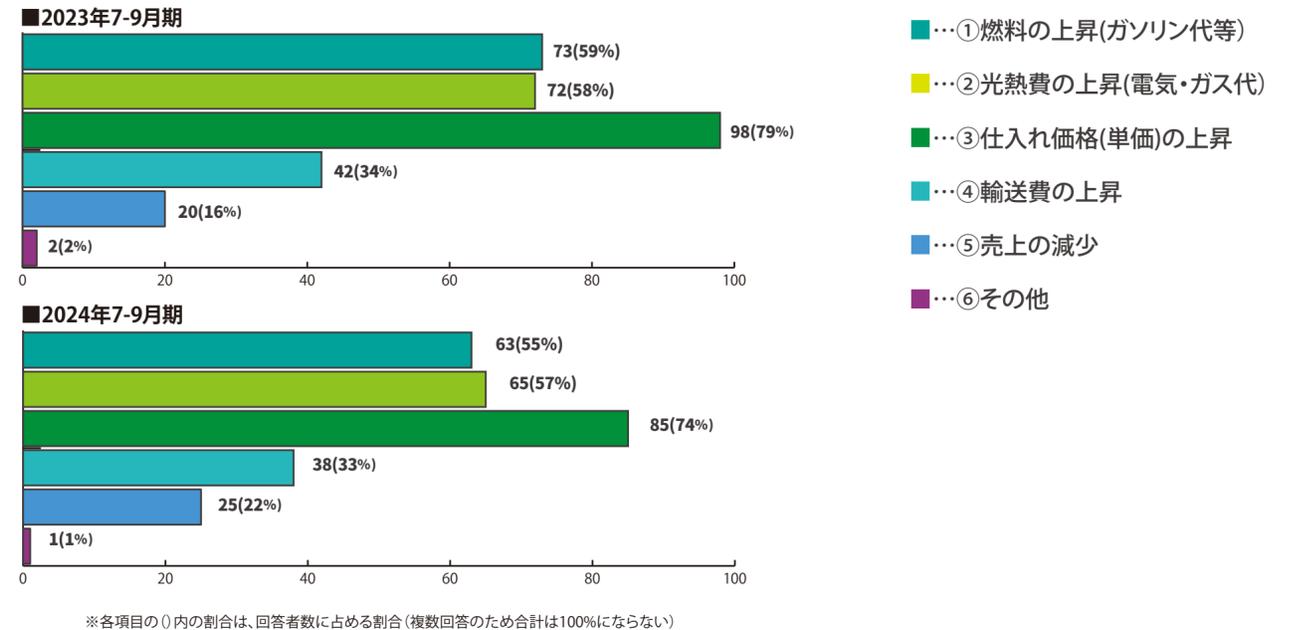
1. 原油等、原材料価格上昇の影響

	卸売業	小売業	サービス業	建設業	製造業	合計	割合
悪影響がある	8	14	12	6	16	56	56%
少し悪影響がある	11	9	13	13	13	59	39%
悪影響はない	1	0	11	1	0	12	5%
合計	20	23	36	20	29	127	

■…悪影響がある ■…少し悪影響がある ■…悪影響はない

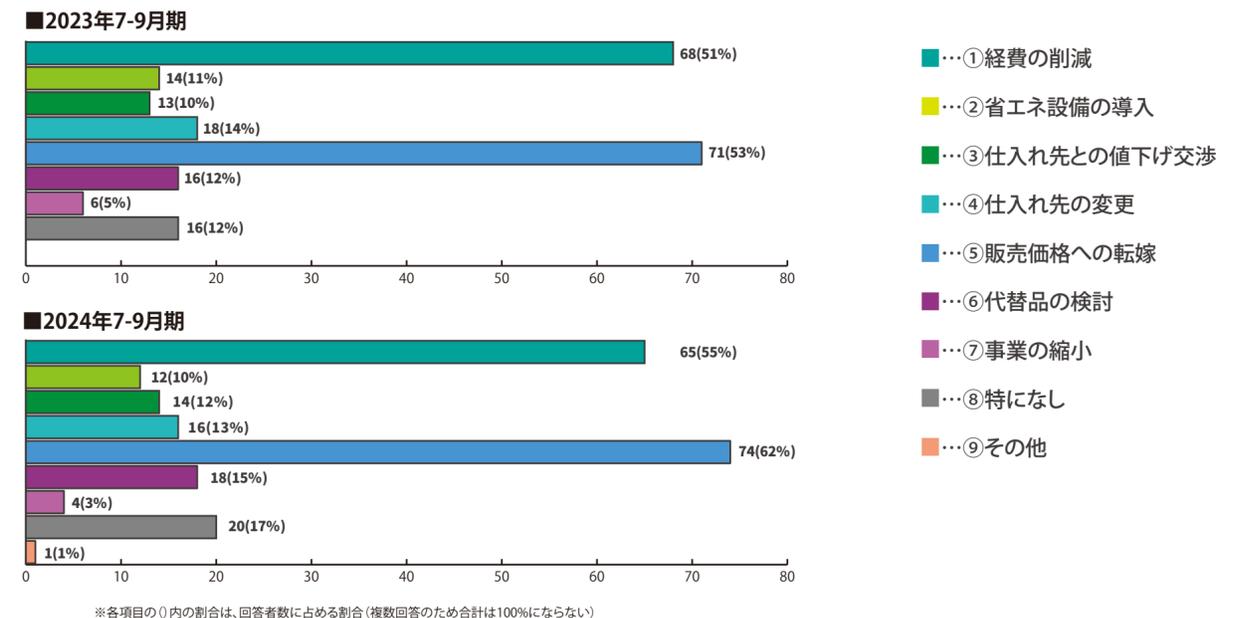


(1-2) 悪影響の内容について（複数回答あり、有効回答社数 115 社、回答数 276）



※各項目の()内の割合は、回答者数に占める割合(複数回答のため合計は100%にならない)

2. 原油等・原材料価格上昇の対策について（複数回答あり、有効回答社数 119 社、回答数 224）



※各項目の()内の割合は、回答者数に占める割合(複数回答のため合計は100%にならない)

全体の景況感（総括）

業況DIは再びマイナス圏に

全体の業況DIは、4期振りにプラス圏だった前期（2024年4-6月期）の1.5から今期は▲4.5と再びマイナス圏に転じました。売上高DIが▲4.5と前期比6.8ポイント低下し、採算（経常利益）DIが▲15.3と同3.9ポイント低下したためと考えられます。

来期（2024年10-12月期）の業況DIは▲5.4で今期より更に0.9ポイント低下する見通しとなっています。

販売価格DIは35.2で前期比4.3ポイント低下し、仕入れ価格DIは72.1で同0.8ポイント上昇しました。その結果、販売価格DIから仕入れ価格DIを差し引いた数値は▲36.9で同5.1ポイントのマイナス幅拡大となり、採算DIに影響したと思われます。

従業員DIは▲22.0で前期に比べ不足感がやや弱まりました。

業況DIは小売業・建設業で上昇、卸売業・サービス業・製造職で低下

業種別では、業況DI、売上高DI、採算DIはともに小売業、建設職で上昇しましたが、卸売業、サービス業で低下しました。なお、採算DIはすべての業種でマイナス圏となりました。従業員DIは、小売業で不足感が強まり、他の4業種では不足感が弱まりました。

卸売業は、売上高DI（▲47.4）が前期比54.1ポイント、採算DI（▲57.9）は同44.6ポイントともに低下し、業況DI（▲42.1）は同35.4ポイント低下しました。仕入れ価格DIが11.6ポイント低下したものの販売価格DIがそれを上回る25.4ポイント低下したことが影響しているものと思われます。小売業は、業況DI（21.7）が同21.7ポイント、売上高DI（21.7）が同29.1ポイントともに上昇しました。販売価格DI、仕入れ価格DIともにほぼ横ばいで、採算DI（▲4.5）は同10.3ポイント上昇しました。サービス業は、売上高DI（▲2.6）、採算DI（▲7.9）ともに低下し、業況DI（0.0）は同12.2ポイント低下し9期続いたプラス圏が途絶えました。建設業は、売上高DI（▲9.5）、採算DI（▲19.0）がともに上昇し、業況DI（▲14.3）はやや上昇しました。製造業は、売上高DI（3.2）が同7.1ポイント低下し、採算DI（▲3.2）は仕入れ価格DI（80.6）が同11.6ポイント上昇したものの横ばいで、業況DI（0.0）は同3.4ポイント低下しました。

来期の業況DIは、建設業、サービス業で上昇、小売業、製造業で低下、卸売業は横ばいの見通しとなりました。

設備投資計画やや弱まる。設備更新投資が高水準

本調査と同時に実施した「設備投資の計画状況」調査によると、設備投資計画が「ある」と答えた企業の割合は前期よりやや減少し22.2%でした。最も高かったのは製造業の38.7%で、次いで建設業（30.0%）、卸売業（23.5%）、小売業（22.7%）、サービス業（2.8%）の順でした。

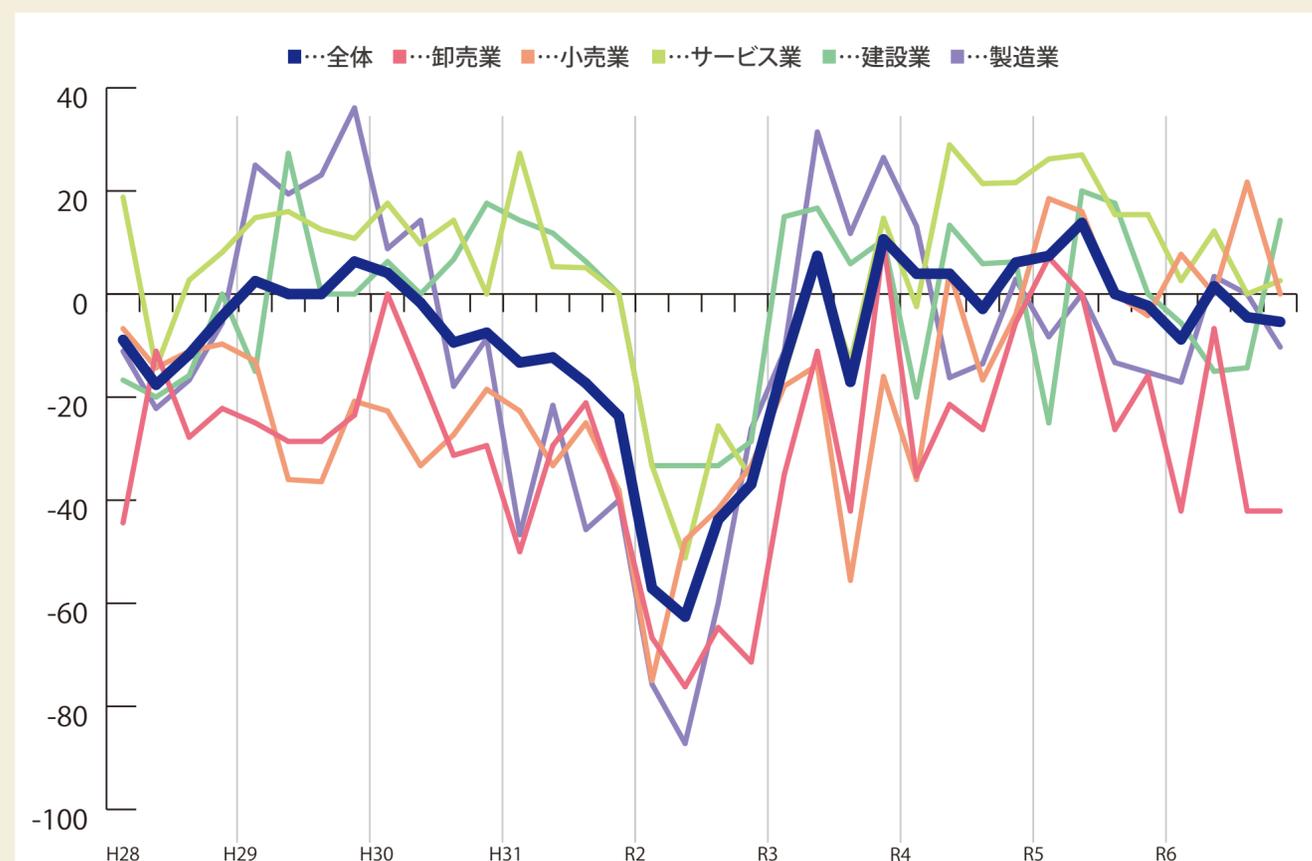
投資内容では、景気回復期に強まる「生産力増加」投資（28.6%）と「合理化・省力化」投資（14.3%）の合計が42.9%と前期より2.8ポイント減少しました。なお、10期振りに「生産力増加」投資が「合理化・省力化」投資を上回りました。「設備更新投資」（57.1%）は2期連続50%を超えました。燃料費や光熱費の上昇による省エネ設備への更新などが後押ししているものと思われます。

（中小企業診断士 川副 郷一郎）

調査項目別 DI 値

	R5.7-9	R5.10-12	R5.1-3	R6.4-6	R6.7-9	R6.10-12 見通し
業況	0.0	▲ 2.3	▲ 8.8	1.5	▲ 4.5	▲ 5.4
売上高	6.1	9.2	▲ 7.3	2.3	▲ 4.5	▲ 8.3
採算(経常利益)	▲ 10.0	▲ 10.7	▲ 13.9	▲ 11.4	▲ 15.3	▲ 16.8
資金繰り	▲ 2.3	▲ 10.8	▲ 6.6	▲ 5.3	▲ 13.7	▲ 10.0
従業員	▲ 23.7	▲ 21.5	▲ 24.4	▲ 26.5	▲ 22.0	▲ 26.7
取引の問い合わせ	▲ 10.1	▲ 5.4	▲ 11.9	▲ 8.5	▲ 5.4	▲ 5.5
採算の水準	5.3	18.2	8.1	15.9	8.4	17.7
販売価格	51.9	38.5	41.8	39.5	35.2	40.8
仕入れ価格	71.9	73.4	75.4	71.3	72.1	66.7
業界動向	▲ 20.2	▲ 20.3	▲ 19.8	▲ 20.6	▲ 20.9	▲ 20.3
借入難易度(長期)	▲ 3.2	▲ 1.6	6.8	1.6	▲ 1.6	▲ 3.9
借入難易度(短期)	4.1	4.0	10.1	6.3	1.6	0.0
受注動向(建設業)	6.3	▲ 12.5	▲ 5.9	▲ 15.8	0.0	▲ 4.8
在庫量(製造業)	19.2	0.0	7.4	▲ 8.3	11.1	▲ 3.8

業種別業況 DI の推移（長期トレンド）



※R6.10-12のDIは見通し

業種ごとの動向（卸売業・小売業・サービス業・建設業）

業況の動き アイコンの説明

- 前期の業況DI値から +1以上
- 前期の業況DI値から +1未満 ▲1超
- 前期の業況DI値から ▲1以下

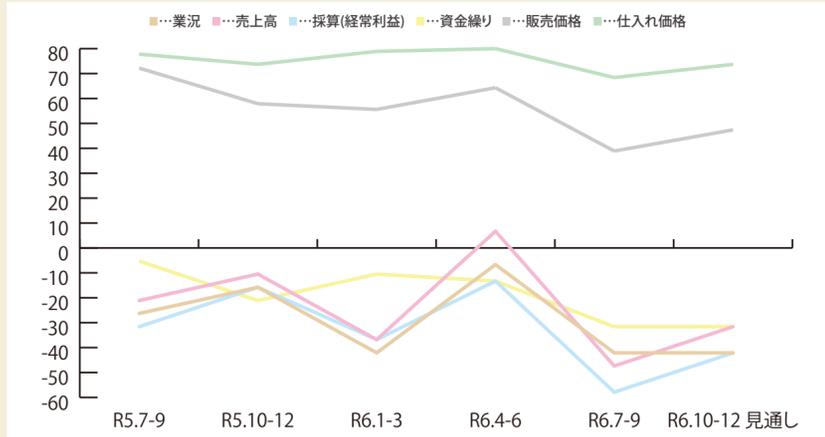
※全国の業況DI... 「中小企業業況調査」 (中小企業庁)結果より

卸売業

業況の動き (3ヶ月前比較)

全国	長浜
業況 DI ▲12.4→▲14.3	業況 DI ▲6.7→▲42.1

	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	R6.7-9	R6.10-12 見通し
業況	▲26.3	▲15.8	▲42.1	▲6.7	▲42.1	▲42.1
売上高	▲21.1	▲10.5	▲36.8	6.7	▲47.4	▲31.6
採算(経常利益)	▲31.6	▲15.8	▲36.8	▲13.3	▲57.9	▲42.1
資金繰り	▲5.3	▲21.1	▲10.5	▲13.3	▲31.6	▲31.6
販売価格	72.2	57.9	55.6	64.3	38.9	47.4
仕入れ価格	77.8	73.7	78.9	80.0	68.4	73.7



事業者の声

好転

- ・価格転嫁にある程度理解を得られるようになった。

悪化

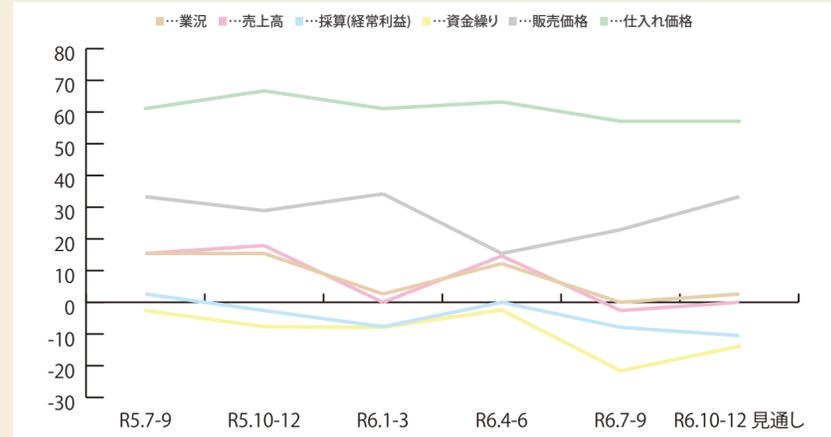
- ・地方の建設市況においては今のところ回復の兆しがない。
- ・長浜市の公共工事が少ない。
- ・年々需要が低下する一方。

サービス業

業況の動き (3ヶ月前比較)

全国	長浜
業況 DI ▲8.8→▲10.5	業況 DI 12.2→0.0

	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	R6.7-9	R6.10-12 見通し
業況	15.4	15.4	2.6	12.2	0.0	2.6
売上高	15.4	17.9	0.0	14.6	▲2.6	0.0
採算(経常利益)	2.6	▲2.6	▲7.7	0.0	▲7.9	▲10.5
資金繰り	▲2.6	▲7.7	▲7.9	▲2.4	▲21.6	▲13.9
販売価格	33.3	28.9	34.2	15.4	22.9	33.3
仕入れ価格	61.1	66.7	61.1	63.2	57.1	57.1



事業者の声

好転

- ・2025年4月建築基準法の法改正前の影響で活発と感じる。
- ・値上げの理解を得られ、単価が上昇

悪化

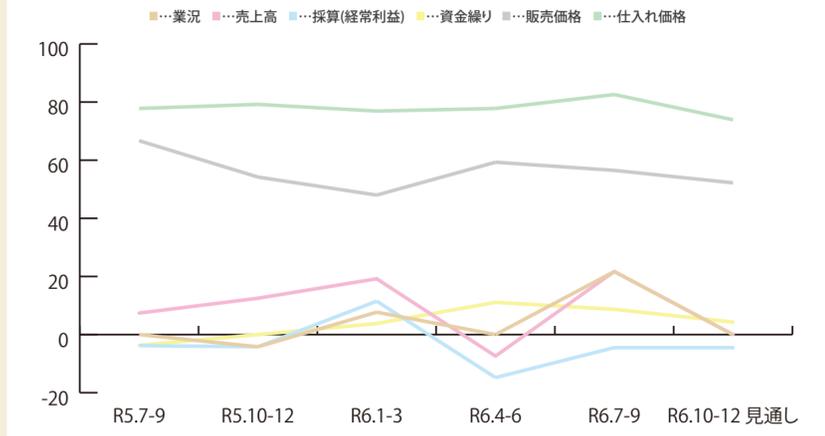
- ・荷主(工場)の動向に左右される。
- ・建築資材、価格改定が半年に一度、毎年度続いている
- ・原料代、運送費など高騰がさらに続いている
- ・物価高により、価格に対する感覚がシビアとなり契約が成立しにくい

小売業

業況の動き (3ヶ月前比較)

全国	長浜
業況 DI ▲25.0→▲26.9	業況 DI 0.0→21.7

	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	R6.7-9	R6.10-12 見通し
業況	0.0	▲4.2	7.7	0.0	21.7	0.0
売上高	7.4	12.5	19.2	▲7.4	21.7	0.0
採算(経常利益)	▲3.8	▲4.2	11.5	▲14.8	▲4.5	▲4.5
資金繰り	▲3.7	0.0	3.8	11.1	8.7	4.3
販売価格	66.7	54.2	48.0	59.3	56.5	52.2
仕入れ価格	77.8	79.2	76.9	77.8	82.6	73.9



事業者の声

好転

- ・コロナが落ち着きイベント参加者・観光客が増加
- ・問い合わせの増加
- ・コロナ前の活気が出てきた

悪化

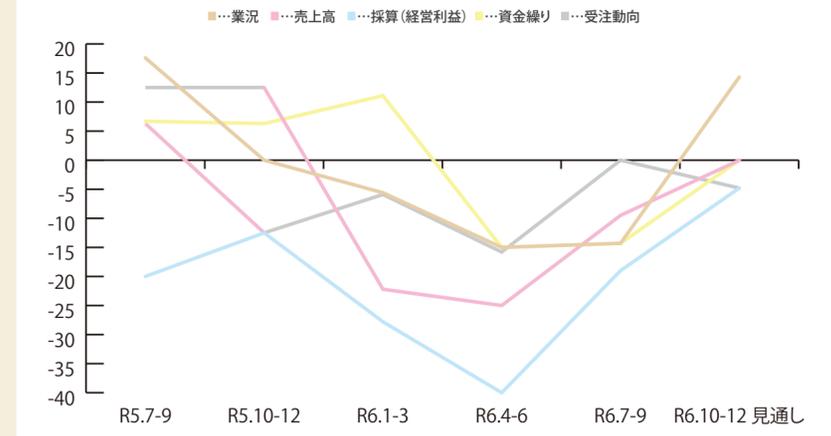
- ・個人消費の落ち込んでいる
- ・仕入れ価格が上昇し、販売価格が上がる
- ・EC販売の勢いがなく、下落傾向か
- ・夏場の暑さの影響あり

建設業

業況の動き (3ヶ月前比較)

全国	長浜
業況 DI ▲11.8→▲11.7	業況 DI ▲15.0→▲14.3

	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	R6.7-9	R6.10-12 見通し
業況	17.6	0.0	▲5.6	▲15.0	▲14.3	14.3
売上高	12.5	12.5	▲22.2	▲25.0	▲9.5	0.0
採算(経常利益)	▲20.0	▲12.5	▲27.8	▲40.0	▲19.0	▲4.8
資金繰り	6.7	6.3	11.1	▲15.0	▲14.3	0.0
受注動向	6.3	▲12.5	▲5.9	▲15.8	0.0	▲4.8



事業者の声

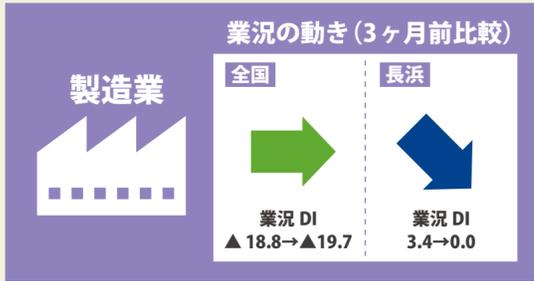
好転

- ・新築の収益物件の受注増加
- ・大型工事の問合せや見積り依頼が増えた

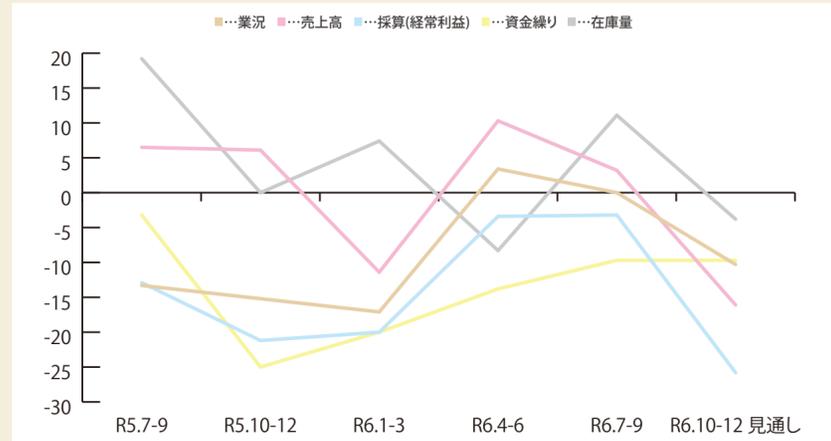
悪化

- ・採用コストの増加
- ・中国経済の低迷により大型案件が遅れている
- ・人員確保が常に課題。人件費アップが経費増、利益圧迫となる

業種ごとの動向（製造業）



	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	R6.7-9	R6.10-12 見通し
業況	▲13.3	▲15.2	▲17.1	3.4	0.0	▲10.3
売上高	6.5	6.1	▲11.4	10.3	3.2	▲16.1
採算(経常利益)	▲12.9	▲21.2	▲20.0	▲3.4	▲3.2	▲25.8
資金繰り	▲3.2	▲25.0	▲20.0	▲13.8	▲9.7	▲9.7
在庫量	19.2	0.0	7.4	▲8.3	11.1	▲3.8



事業者の声

好転

- 原材料価格上昇分を販売価格へ転嫁できた
- 価格転嫁が進展してきた
- 手形サイトの短縮により回収期間が早まり資金繰りが好転

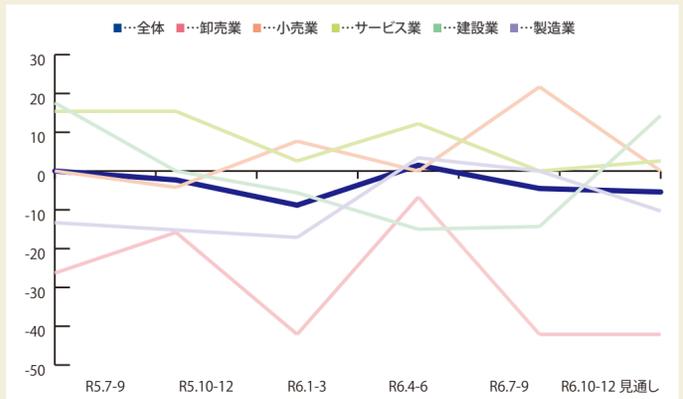
悪化

- 自動車新車開発が低調
- 受注低迷と人件費等経費負担増加により収支悪化
- 材料、部品不足。輸送費の上昇
- 原材料が高騰
- 人材の不足

調査項目別 DI の推移①

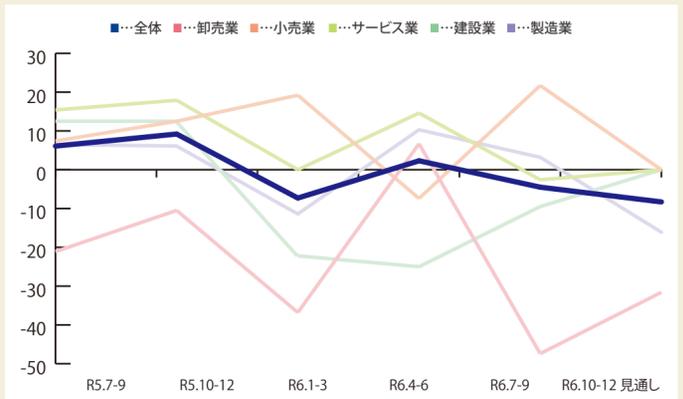
業況 (好転-悪化)

	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	R6.7-9	R6.10-12 見通し
全体	0.0	▲2.3	▲8.8	1.5	▲4.5	▲5.4
卸売業	▲26.3	▲15.8	▲42.1	▲6.7	▲42.1	▲42.1
小売業	0.0	▲4.2	7.7	0.0	21.7	0.0
サービス業	15.4	15.4	2.6	12.2	0.0	2.6
建設業	17.6	0.0	▲5.6	▲15.0	▲14.3	14.3
製造業	▲13.3	▲15.2	▲17.1	3.4	0.0	▲10.3



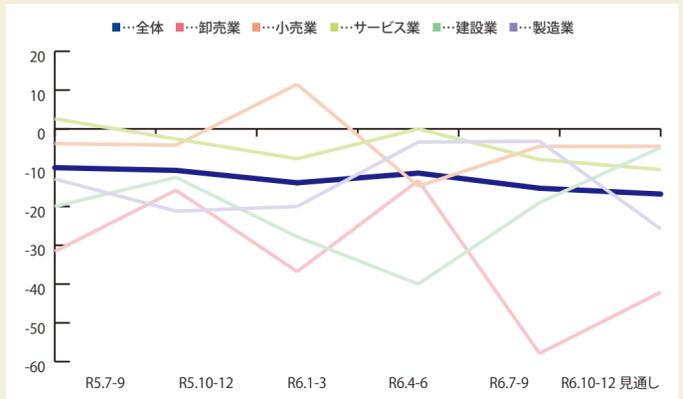
売上高 (増加-減少)

	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	R6.7-9	R6.10-12 見通し
全体	6.1	9.2	▲7.3	2.3	▲4.5	▲8.3
卸売業	▲21.1	▲10.5	▲36.8	6.7	▲47.4	▲31.6
小売業	7.4	12.5	19.2	▲7.4	21.7	0.0
サービス業	15.4	17.9	0.0	14.6	▲2.6	0.0
建設業	12.5	12.5	▲22.2	▲25.0	▲9.5	0.0
製造業	6.5	6.1	▲11.4	10.3	3.2	▲16.1



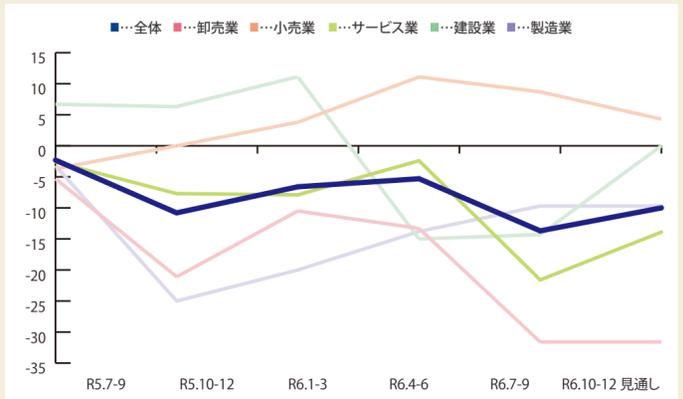
採算 (好転-悪化)

	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	R6.7-9	R6.10-12 見通し
全体	▲10.0	▲10.7	▲13.9	▲11.4	▲15.3	▲16.8
卸売業	▲31.6	▲15.8	▲36.8	▲13.3	▲57.9	▲42.1
小売業	▲3.8	▲4.2	11.5	▲14.8	▲4.5	▲4.5
サービス業	2.6	▲2.6	▲7.7	0.0	▲7.9	▲10.5
建設業	▲20.0	▲12.5	▲27.8	▲40.0	▲19.0	▲4.8
製造業	▲12.9	▲21.2	▲20.0	▲3.4	▲3.2	▲25.8



資金繰り (好転-悪化)

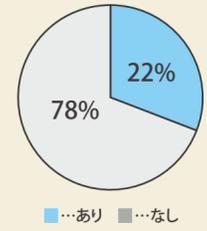
	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	R6.7-9	R6.10-12 見通し
全体	▲2.3	▲10.8	▲6.6	▲5.3	▲13.7	▲10.0
卸売業	▲5.3	▲21.1	▲10.5	▲13.3	▲31.6	▲31.6
小売業	▲3.7	0.0	3.8	11.1	8.7	4.3
サービス業	▲2.6	▲7.7	▲7.9	▲2.4	▲21.6	▲13.9
建設業	6.7	6.3	11.1	▲15.0	▲14.3	0.0
製造業	▲3.2	▲25.0	▲20.0	▲13.8	▲9.7	▲9.7



設備投資の有無

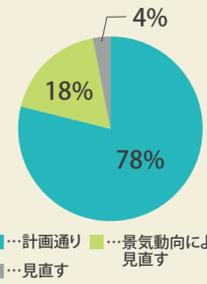
① 設備投資の有無

	卸売業	小売業	サービス業	建設業	製造業	合計
あり	4	5	1	6	12	28
なし	13	17	35	14	19	98



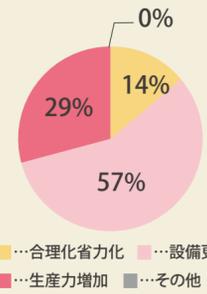
② ①で「あり」と答えた場合、計画の実行について

	卸売業	小売業	サービス業	建設業	製造業	合計
計画通り	3	5	1	5	8	22
景気動向によって見直す	1	0	0	0	4	5
見直す	0	0	0	1	0	1



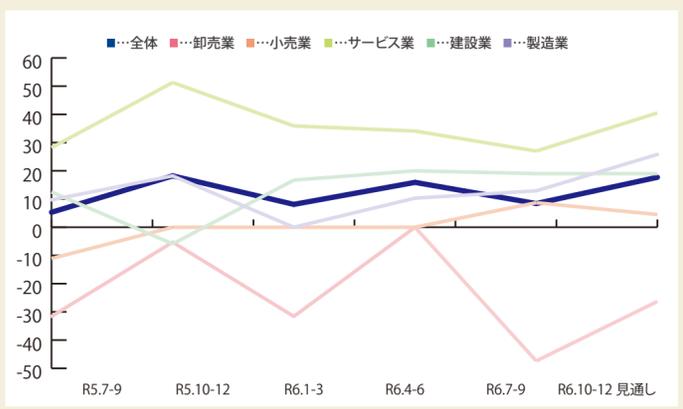
③ ①で「あり」と答えた場合、計画の内容について

	卸売業	小売業	サービス業	建設業	製造業	合計
合理化省力化	1	1	0	0	2	4
設備更新	3	2	1	3	7	16
生産力増加	0	2	0	3	3	8
その他	0	0	0	0	0	0



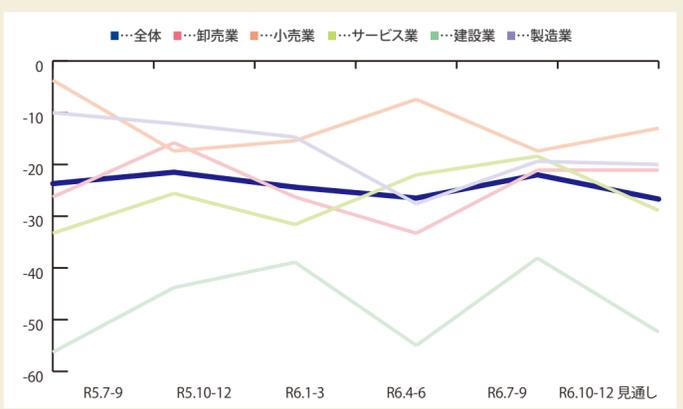
採算の水準 (黒字-赤字)

	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	R6.7-9	R6.10-12 見通し
全体	5.3	18.2	8.1	15.9	8.4	17.7
卸売業	▲31.6	▲5.3	▲31.6	0.0	▲47.4	▲26.3
小売業	▲11.1	0.0	0.0	0.0	8.7	4.5
サービス業	28.2	51.3	35.9	34.1	27.0	40.5
建設業	12.5	▲5.9	16.7	20.0	19.0	19.0
製造業	9.7	18.2	0.0	10.3	12.9	25.8



従業員 (過剰-不足)

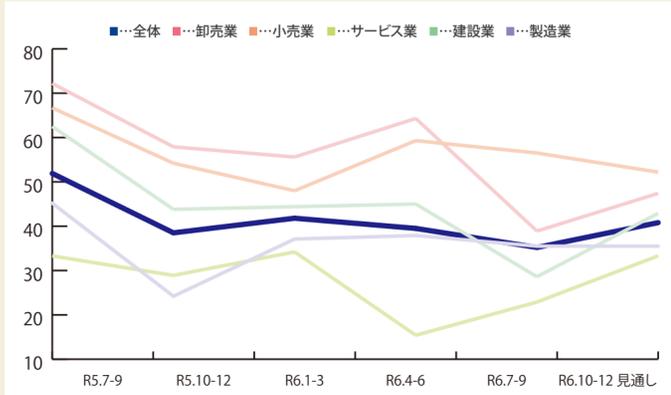
	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	R6.7-9	R6.10-12 見通し
全体	▲23.7	▲21.5	▲24.4	▲26.5	▲22.0	▲26.7
卸売業	▲26.3	▲15.8	▲26.3	▲33.3	▲21.1	▲21.1
小売業	▲3.7	▲17.4	▲15.4	▲7.4	▲17.4	▲13.0
サービス業	▲33.3	▲25.6	▲31.6	▲22.0	▲18.4	▲28.9
建設業	▲56.3	▲43.8	▲38.9	▲55.0	▲38.1	▲52.4
製造業	▲10.0	▲12.1	▲14.7	▲27.6	▲19.4	▲20.0



調査項目別 DI の推移②

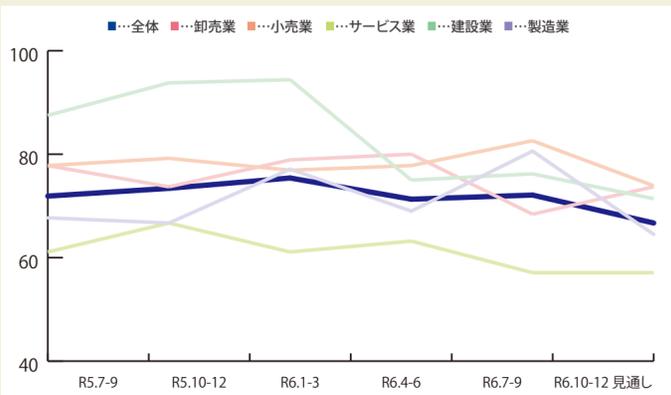
販売価格(上昇-下落)

	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	R6.7-9	R6.10-12 見通し
全体	51.9	38.5	41.8	39.5	35.2	40.8
卸売業	72.2	57.9	55.6	64.3	38.9	47.4
小売業	66.7	54.2	48.0	59.3	56.5	52.2
サービス業	33.3	28.9	34.2	15.4	22.9	33.3
建設業	62.5	43.8	44.4	45.0	28.6	42.9
製造業	45.2	24.2	37.1	37.9	35.5	35.5



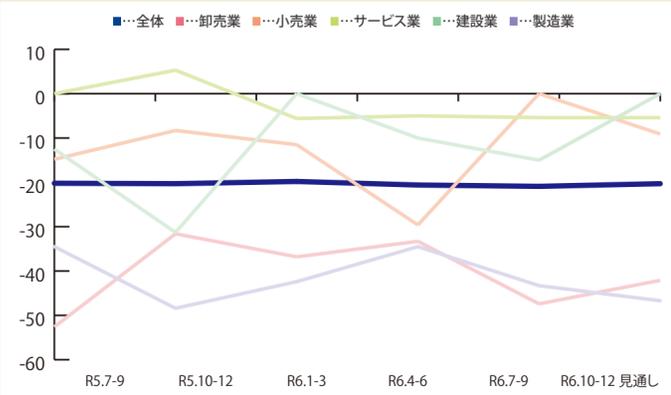
仕入価格(上昇-下落)

	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	R6.7-9	R6.10-12 見通し
全体	71.9	73.4	75.4	71.3	72.1	66.7
卸売業	77.8	73.7	78.9	80.0	68.4	73.7
小売業	77.8	79.2	76.9	77.8	82.6	73.9
サービス業	61.1	66.7	61.1	63.2	57.1	57.1
建設業	87.5	93.8	94.4	75.0	76.2	71.4
製造業	67.7	66.7	77.1	69.0	80.6	64.5



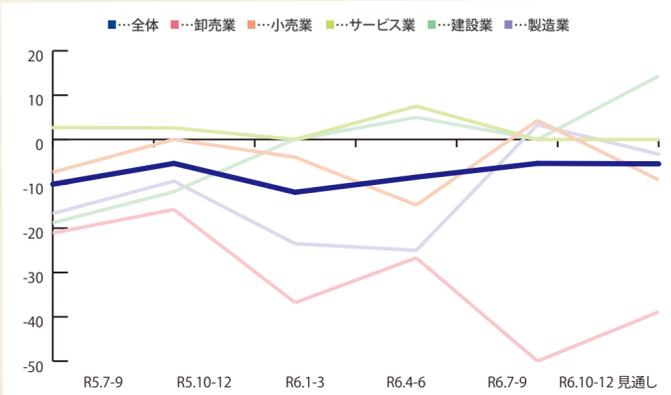
業界動向(好転-悪化)

	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	R6.7-9	R6.10-12 見通し
全体	▲20.2	▲20.3	▲19.8	▲20.6	▲20.9	▲20.3
卸売業	▲52.6	▲31.6	▲36.8	▲33.3	▲47.4	▲42.1
小売業	▲14.8	▲8.3	▲11.5	▲29.6	0.0	▲9.1
サービス業	0.0	5.3	▲5.6	▲5.0	▲5.4	▲5.4
建設業	▲12.5	▲31.3	0.0	▲10.0	▲15.0	0.0
製造業	▲34.5	▲48.4	▲42.4	▲34.5	▲43.3	▲46.7



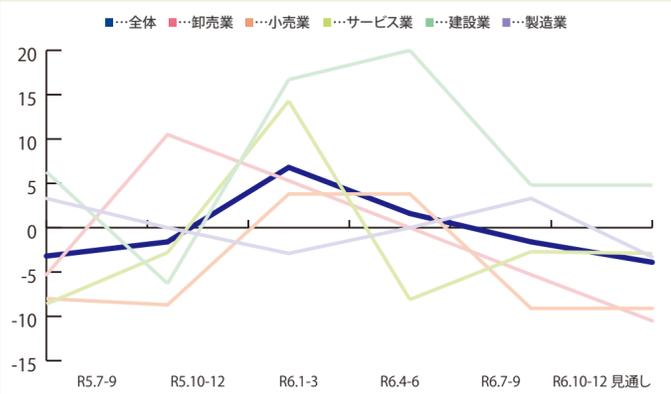
取引問合せ(活発-低調)

	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	R6.7-9	R6.10-12 見通し
全体	▲10.1	▲5.4	▲11.9	▲8.5	▲5.4	▲5.5
卸売業	▲21.1	▲15.8	▲36.8	▲26.7	▲50.0	▲38.9
小売業	▲7.4	0.0	▲4.0	▲14.8	4.3	▲9.1
サービス業	2.7	2.6	0.0	7.5	0.0	0.0
建設業	▲18.8	▲11.8	0.0	5.0	0.0	14.3
製造業	▲16.7	▲9.4	▲23.5	▲25.0	3.3	▲3.3



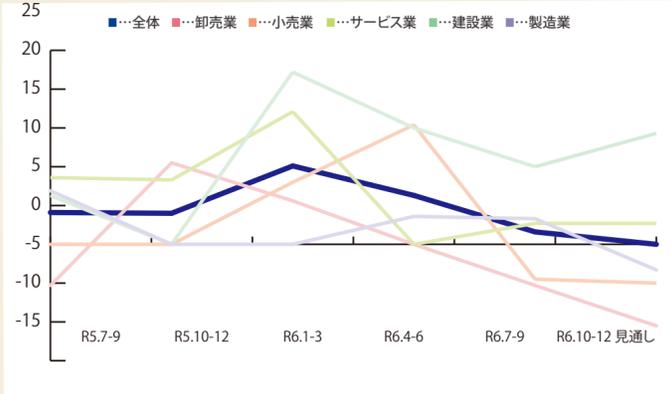
長期資金借入難度(容易-困難)

	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	R6.7-9	R6.10-12 見通し
全体	▲3.2	▲1.6	6.8	1.6	▲1.6	▲3.9
卸売業	▲5.3	10.5	5.3	0.0	▲5.3	▲10.5
小売業	▲8.0	▲8.7	3.8	3.8	▲9.1	▲9.1
サービス業	▲8.6	▲2.8	14.3	▲8.1	▲2.7	▲2.9
建設業	6.3	▲6.3	16.7	20.0	4.8	4.8
製造業	3.3	0.0	▲2.9	0.0	3.3	▲3.3



短期資金借入難度(容易-困難)

	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	R6.7-9	R6.10-12 見通し
全体	4.1	4.0	10.1	6.3	1.6	0.0
卸売業	▲5.3	10.5	5.6	0.0	▲5.3	▲10.5
小売業	0.0	0.0	8.0	15.4	▲4.5	▲5.0
サービス業	8.6	8.3	17.1	0.0	2.7	2.7
建設業	6.3	0.0	22.2	15.0	10.0	14.3
製造業	6.9	0.0	0.0	3.6	3.3	▲3.3



その他業種別自由意見

	好転👍	悪化👎
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> 価格転嫁については、ある程度理解を得られるようになった。(労務費含めて) 好転しましたが、10月に大きな注残があったためです。それをのぞけば8月からの悪化は続いています。 着物をお召しになる行事や機会が増えたような気がします。 	<ul style="list-style-type: none"> 長浜市の公共工事が少ない。防災の観点から、もっと積極的な対策を県・市は行うべきだと思う。防災は災害が起こってからするものではない。 地方の建設市況においては今のところ回復のきざしはない。 問い合わせは、7~9月に比べると若干増えたように思われますが年々需要は低迷する一方で。
小売業	<ul style="list-style-type: none"> イベント等に参加人数増加。観光客の増加(コロナ前に戻りつつある) 長浜のまちなか土・日・休日は、人の賑いが戻りつつある。 8月は猛暑のため観光客が少なかったが、9月の連休は盛り返し売上がよかった。 問い合わせが増えてきた。 コロナが落ちついて、イベント関係の需要が増えてきた。 昨年同期と比べ取引が多少活発化している。アフターコロナの風潮が広がりつつあるように感じる。 駐車場が広くなった。 観光客の増加、コロナ前のように活気がでてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 平日の来街者が少なく、閑散としたまちなかの現状です。 平均気温の上昇によるアウトドアへの行動が減少したことが悪化要因と考えます。 ネットショップの販売は、あまり勢いが感じられない。今後悪化していきそうな雰囲気。物価高が影響か? 夏の暑さにより。 仕入価格UPの為、販売価格が上がる。 個人消費が落ち込んでいるように思えます。 原価高騰。
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> 今の所、前年並という状況です。 前期が悪化していたので心配しましたが、以前と変わらない状況までもちなおしました。しかし、利益率は下がっているので、経費の削減は引き続き行っていきたい。 2025年4月建築基準法の法改正前の影響で活発と感じる。 値上げをしたが、お客様からクレームもなく受け入れてもらえ、利用単価を上げられた。 アゲンストの中で何とか良い結果を出すための心づもりが強くなった。 来店数増加。 	<ul style="list-style-type: none"> 荷主(工場)の動向に左右される。 夏場の気温上昇により利用控があった。 建築資材、価格改定が半年に一度、毎年度、続いて困る。 設備の老朽化により一部休館している為、総売上が下がっている。 原料代、運送費など高騰がさらに続いていることが業績悪化につながっている。 物価高により、価格に対する感覚がシビアになってきていて契約が成立しにくくなってきた。
建設業	<ul style="list-style-type: none"> 新築の収益物件の受注増加。 今後、大型工事の問合せや見積り依頼が増えた事。 特にないが、今後を考えるきっかけにはなった。 	<ul style="list-style-type: none"> 採用コストの増加。 中国経済の低迷により大型案件が遅れている。又、原材料費の高騰により販売価格に転嫁している為、見積り提出時や契約時に金額での値下げ交渉を入れられる事が増えた。 受注減。 人員確保が常に課題。人件費アップが経費増、利益圧迫となる。 各種原材料、人件費。
製造業	<ul style="list-style-type: none"> 原材料価格上昇分を販売価格へ転嫁できた。 各地でイベントが盛んに行われている加減で好転がみ。 価格転嫁が進展してきた。 受注元工場は総じて業況不芳であり、受注は前年割れであるが、船舶関係は需要は環境規制の中で依然旺盛。当社受注を支えている。 地球温暖化の影響で夏ものの受注が好調。 手形サイトの短縮により回収期間が早まり資金繰りが好転した。 大手企業を含む日本企業のサプライチェーンの見直しにより、かなりの頻度でホームページからコンタクトがある。この中で実際に受注まで結び付くことも多い。 WWでの売上が好調(為替影響含む)。海外プリンタ市場の拡大。 	<ul style="list-style-type: none"> 原材料(金属)が高騰していて、価格に転嫁するか検討している。 設計人材の不足。 設備老朽化による不具合で経費がかさみ経営を圧迫しているが、資金難で設備更新や修繕することができない。 自動車新車開発が低調なため、売上高に大きく影響している。 受注低迷と人件費等経費負担増加により収支悪化。なかなか前向きな見通しが立たない。 引き合いは非常に多いが、先方の目論見は少しでも安くやってくれる業者を探したいということであり、検討に時間をとられるだけで、採算が合わずに話が流れることが多い。着手前に見積り依頼の理由を聞いて、内容によっては断るなど強気に出るようにしている。 コロナ禍での巣籠り需要がなくなり内装材の売れ行きが悪化した。また、自動車産業の認証不正問題の影響から生産量が大きく減少した。 ここまで比較的順調に値上げが通ってきたが5月以降値上げが重くなってきている。業界全体的に売れ行きが悪く、ムードがよくない。 電気自動車が世界的に売れていないので、これからその影響が出てこないか心配である。また、何となくこの問題は長引きそうな気配である。 材料、部品不足。輸送費の上昇。(船→Air)